

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位

2019年10月4日

愛媛県保険医協会
会長 藤田 敏博

診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める 医師・歯科医師要請署名

診療報酬は、公的医療保険で受けられる医療の内容を規定するとともに、医師・歯科医師をはじめとする医療従事者の確保、医療機器・設備の維持、更新等に使われています。医療の質・安全の確保、より良い医療を提供していくためには、診療報酬の引き上げが不可欠です。

しかし、2002～08年にかけての4回のマイナス改定、2014～18年の3回のマイナス改定で、引き下げ幅は累計10%以上にのぼり、地域医療を支える現場は疲弊し続けています。

加えて、「働き方改革」に伴う人件費増や物価上昇への対応等を考慮すると、次期診療報酬改定では10%以上の大幅な引き上げが必要です。

全国保険医団体連合会が2015年に会員医療機関を対象に実施した調査では、約4割が「患者さんの経済的理由による治療中断」を経験していました。今でも重い患者負担が患者さんに受診抑制を強いています。政府は今後も「75歳以上の窓口負担原則2割化」、「痛み止めなど薬の保険はずし」などの患者負担増を計画しています。これ以上の患者負担増、給付削減は患者さんの受診抑制を深刻化させ、国民の健康、そして命を脅かします。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

- 一、国民に安全、安心で、必要な医療を提供するため、基本診療料（初・再診料、入院基本料など）と基礎的技術料を中心に、診療報酬を10%以上引き上げること
- 一、新たな患者負担増の計画は中止し、患者窓口負担を軽減すること

以上

私の一言

住 所：

医療機関名：

氏 名：